

有園 正剛さん ご夫妻
(出水市在住)



紫尾温泉には時々来ますが、今回は新聞で知って、初めて来ました。

ひがん花の手入れが行き届いて、すばらしい風景ですね。

ここまでするには、相当なご苦勞があったと思います。地域と学校と一緒にになった良いイベントですね。

本車田 峻さん グループ
(鹿児島市在住)



鹿児島国際大学のゼミの教授に紹介されて、ゼミの仲間に来ました。

さつま町は初めてです。

コースを散策しましたが、ひがん花と田園風景がマッチしてとてもきれいですね。

まだある町内の「もてなしの心」

杵野地区の「ひがん花祭り」以外にも町内には、地域が主体となって行うイベントがたくさんあります。

中津川地区で行われる「金吾様踊り」や神子地区を中心に行われる「奥薩摩の木タル舟運航」、湯田地区の「みやんじょ温泉竹木タル」、永野地区の「永野金山ウオーキング」などは、地域の「もてなしの心」が来場者に喜ばれ、「また来年も来たい！」と思わせる一例です。

そこで今回、2つのイベントの代表者に「もてなしの心」とは何か？聞いてみました。



中津川民芸保存会
会長

米 森 十 一
さん

私はイベントを行う上で、「できる人が、できる時に、できる事をやる」というスタンスで取り組んでいます。
地域の事は自分の事としてとらえ、一人ひとりが地域のために力を発揮する姿が、ふるさと思う人間形成につながると思います。
今年の金吾様踊りでは、昨年に引き続き、焼酎「金吾さあ」を作るために原料のさつまいもの栽培を保育園児から高齢者まで総出で行いました。祭りの来場者には抽選で焼酎を差し上げたり、湯茶接待はもちろん、各踊りの説明や金吾様の由来などを記した用紙を配布したりしています。

金吾様踊り
あなたの感動と笑顔が
私たちの願い



今年は、遠くは山形県から来ていただきました。
どのイベントにも100%は無いですと思いますが、お客さまの笑顔を見ることができ、自分達が楽しむ事ができれば、最高ですね。



奥薩摩のホタルを守る会
会長

上大迫 重規
さん

奥薩摩のホタル舟運航も今年で8回目が終わりました。
3年前の県北部豪雨災害の影響でホタルが激減した時には、イベントの実施さえも危ぶまれましたが、「ホタルが少ない分スタッフのあたたかい真心でもてなしましょう!」と気持ちを新たに取り組みました。
今は全盛期には及びませんが、少しずつ、ホタルが増えてきつつあります。
2週間程度のイベント期間中は約130人の地元ボランティアスタッフで対応しますが、スタッフの何よりの支えになるのは、「きれいだっ!」「感動した」「また

奥薩摩のホタル舟運航
ホタル激減も、スタッフの真心でカバー



来年も来るから」など、来場されたお客さまの温かい言葉です。
今後は、スタッフ一丸となつてホタルの乱舞する環境づくりを行っていききたいと思っています。